

送りがなプリント はってん①(て・たの かたち) なまえ _____

小3/うごく ことばの て・た形(4/5)

ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい コップに おちやを そそいで あげる。

れい ノートに ずを うつした。

注 いで _____

写 した _____

考え方

れい1

れい2

- ① もとの かたちにもどす
- ② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける
- ③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

そそぐ
↓
注ぐ
↓
注いで

うつす
↓
写す
↓
写した

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ころんだ ともだちを みんなで たすけた。

(2) さかなが ゆっくり うごいて いる。

助 _____

動 _____

(3) あめが ふるので いそいで かえる。

(4) きノウ プールで およいだ。

急 _____

泳 _____

(5) きょう テストを うけて きた。

(6) ともだちと バスに のった。

受 _____

乗 _____

(7) えんぴつを つかって ください。

(8) きノウの しあい にかった。

使 _____

勝 _____

(9) たなから ほんを とって きた。

(10) やくそくを ちゃんと まもった。

取 _____

守 _____

(11) プリントを くばって ください。

(12) にもつを ふたりで はこんだ。

配 _____

運 _____

できたら:こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みになるか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(て・たの かたち)【こたえ】 なまえ _____

小3／うごく ことばの て・た形(4／5) ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい コップに おちやを そそいで あげる。

れい ノートに ずを うつした。

注 いで

写 した

考え方

れい1

れい2

① もとの かたちにもどす

そそぐ

うつす

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

↓

注ぐ

↓

写す

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

↓

注いで

↓

写した

線の ことばの かたちになるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ころんだ ともだちを みんなで たすけた。

(2) さかなが ゆっくり うごいて いる。

助 けた

(もと：助ける)

動 いて

(もと：動く)

(3) あめが ふるので いそいで かえる。

(4) きノウ プールで およいだ。

急 いで

(もと：急ぐ)

泳 いだ

(もと：泳ぐ)

(5) きょう テストを うけて きた。

(6) ともだちと バスに のった。

受 けて

(もと：受ける)

乗 った

(もと：乗る)

(7) えんぴつを つかって ください。

(8) きノウの しあいに かった。

使 って

(もと：使う)

勝 った

(もと：勝つ)

(9) たなから ほんを とって きた。

(10) やくそくを ちゃんと まもった。

取 って

(もと：取る)

守 った

(もと：守る)

(11) プリントを くばって ください。

(12) にもつを ふたりで はこんだ。

配 って

(もと：配る)

運 んだ

(もと：運ぶ)

つまずきやすいところ

助た・動て のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。

もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。

採点：線のはんいだけで よい（あとにつづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正）。